

ISSN 0914-2630 CODEN HKEZEA

北海道 公衆衛生学雑誌

Hokkaido Journal of Public Health

Contents

第74回北海道公衆衛生学会プログラム

メインテーマ 「道民の健康と安全を守る公衆衛生活動

～今、我々が共有すべき危機管理～

学会長	北海道立衛生研究所	所長	栗井 是臣
会 期	2022年10月22日（土）		
会 場	北海道立道民活動センター（かでる 2・7）（札幌市中央区北 2 条西 7 丁目）		

■特別講演

「公衆衛生危機管理における地方衛生研究所の役割について」

演 者	山口県環境保健センター	所長	調 恒 明
座 長	北海道立衛生研究所	所長	栗井 是臣

■記念講演

「国際環境疫学会 2021 John Goldsmith 賞受賞記念講演」

演 者	北海道大学環境健康科学研究教育センター	特別招へい教授	岸 玲 子
座 長	北海道千歳リハビリテーション大学	学長	森 満

■シンポジウム

テーマ 「新型コロナウイルス感染症の現場事例に学ぶ～今後求められる危機管理～」

座 長	北海道立衛生研究所	感染症センター長	藤 谷 好 弘
シンポジスト	北海道保健福祉部	技監	人 見 嘉 哲
	北海道石狩振興局保健環境部保健行政室	技術主幹	深 津 恵 美
	北海道老人福祉施設協議会	会長	瀬 戸 雅 嗣
	札幌医科大学保健管理センター	公認心理師	津 山 雄 亮
	札幌医科大学医学部呼吸器・アレルギー内科学講座	准教授	黒 沼 幸 治

■一般演題 口演・示説発表

第74回北海道公衆衛生学会

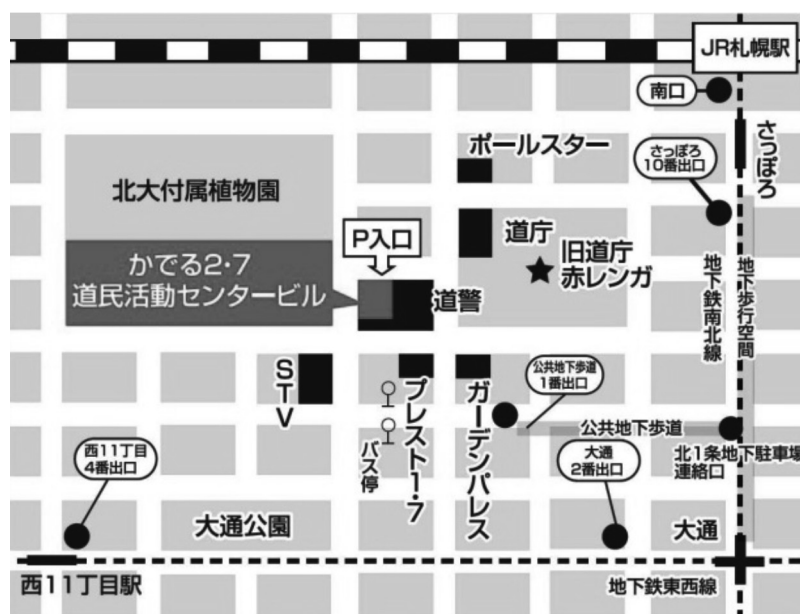
学 会 長 北海道立衛生研究所 所長 栗井 是臣

会 期 2022年10月22日（土）9:30～17:30（受付開始 9:00）

会 場 北海道立道民活動センター（かでの 2・7）
（札幌市中央区北 2 条西 7 丁目）

評 議 員 会 かでの 2・7 7F 710会議室

会場案内図



最寄りの交通機関

- ・ JR 札幌駅南口：徒歩 13 分
- ・ 地下鉄 さっぽろ駅（10番出口）：徒歩 9 分
- ・ 大通駅（2番出口）：徒歩11分
- ・ 西11丁目駅（4番出口）：徒歩11分
- ・ JRバス北1条西7丁目（停留所）：徒歩 4 分
- ・ 中央バス北1条西7丁目（停留所）：徒歩 4 分
- ・ 公共地下歩道（地下歩行空間から北 1 条地下駐車場連絡口をお通りください）
- ・ 1番出口：徒歩 4 分

学会運営についてのお知らせ

1 学会参加者の皆様へ

【事前申込をされた方】

- ・「事前申込受付」にて、受付をしてください。
- ・ネームカード、領収書および抄録集（※購入申込者のみ）をお渡しします。
- ・ネームカードに所属、氏名を記入の上、会場内では、常にネームカードの着用をお願いします。

【当日参加される方】

- ・「当日参加受付」にて、受付をしてください。
- ・学会員は3,000円（参加費1,000円＋抄録集代2,000円）、非学会員は4,000円（参加費2,000円＋抄録集代2,000円）、学生は500円（抄録集なし）を納めてください。
- ・ネームカード、領収書および抄録集をお渡しします。
- ・ネームカードに所属、氏名を記入の上、会場内では、常にネームカードの着用をお願いします。

※抄録集は、「当日参加受付」にて購入可能です。（抄録集代 一冊2,000円）

※本学会は、日本公衆衛生学会認定専門家地方公衆衛生学会となっており、認定専門家ポイント15ポイントが本学会の参加により認められます。

（受講票は発行しておりません。認定専門家申請時、申請書へポイント数を記載してください）

※本学会は、社会医学系専門医協会「社会医学系分野に関連する講習の受講」の対象として承認されており、クレジット K 単位（3単位）の対象となります。

対象となる参加者の方は、学会終了後に1F受付にて受講票をお受け取りください。

（受講票は紛失した場合も含め、再発行はいたしません）

2 一般演題（口演）発表者へ

- ・「一般演題（口演）受付」にて、受付をしてください。
- ・発表者は、各演題群の開始10分前までに「演者席」に着席してください。
- ・スクリーンに、パワーポイントの表紙画面を表示させますので、以後のPC操作は発表者自身で行ってください。
- ・発表は、1演題につき発表7分、質疑応答3分の合計10分とします。
- ・発表時間の目安として、発表時間終了1分前に1回、発表時間終了時に2回、質疑応答終了時に3回ベルが鳴りますので、時間厳守をお願いします。

3 一般演題（口演）座長の方へ

- ・「座長受付」にて、受付をしてください。
- ・担当される演題群の開始10分前までに会場にお越しになり、「座長席」にお座りください。
- ・担当される演題発表の進行方法は座長に一任します。
- ・1 演題につき10分を目安に、全体として予定時間どおりの進行となるようにお願いします。

4 一般演題（示説）発表者へ

- ・「一般演題（示説）受付」にて、受付をしてください。
- ・会場入り口付近に掲示区画を掲示しておりますので、演題番号ごとに指定された区画にポスターを掲示してください。
- ・ポスターの受付と掲示は9:00～9:30、ポスターディスカッションは14:40～15:10、撤去は15:10～17:30です。
- ・発表者は、ポスターディスカッション開始10分前までにポスター掲示場所にて待機し、訪れた会員等と意見交換をしてください。

第74回北海道公衆衛生学会 日程

2022年10月22日（土） 北海道立道民活動センター（かでる2・7）

	第1会場（4F） 大会議室	第2会場（5F） 520研修室	第3会場（1F） 展示ホール	第4会場（7F） 710会議室
午前	9:00～ 開場・受付（1F展示ホール前）			
	9:30～9:35 開会の辞			
	9:35～10:55 特別講演			
	11:00～11:50 一般演題（口演1） 親子保健・地域保健 5題	11:10～11:50 一般演題（口演2） 環境保健・感染症Ⅰ 4題		
昼			9:30～15:10 一般演題（示説） ポスター展示 13題	12:00～12:40 評議員会
午後	12:50～13:20 総会			
	13:30～14:10 記念講演			
	14:20～15:10 一般演題（口演3） 感染症Ⅱ・防災 5題	14:20～15:10 一般演題（口演4） 検診・歯科保健 5題	14:40～15:10 ポスター ディスカッション	
	15:20～17:20 シンポジウム		15:10～17:30 ポスター撤去	
	17:25～17:30 閉会の辞			

特別講演・記念講演・シンポジウム

特別講演

9:35-10:55 第1会場（4F 大会議室）

演 題 「公衆衛生危機管理における地方衛生研究所の役割について」

演 者 調 恒明 山口県環境保健センター 所長

座 長 栗井 是臣 北海道立衛生研究所 所長

記念講演

13:30-14:10 第1会場（4F 大会議室）

演 題 「国際環境疫学会 2021 John Goldsmith 賞受賞記念講演」

演 者 岸 玲子 北海道大学環境健康科学研究教育センター 特別招へい教授

座 長 森 満 北海道千歳リハビリテーション大学 学長

シンポジウム

15:20-17:20 第1会場（4F 大会議室）

テーマ 「新型コロナウイルス感染症の現場事例に学ぶ～今後求められる危機管理～」

座 長 藤谷 好弘 北海道立衛生研究所 感染症センター長

シンポジスト

人見 嘉哲 北海道保健福祉部 技監

深津 恵美 北海道石狩振興局保健環境部保健行政室 技術主幹

瀬戸 雅嗣 北海道老人福祉施設協議会 会長

津山 雄亮 札幌医科大学保健管理センター 公認心理師

黒沼 幸治 札幌医科大学医学部呼吸器・アレルギー内科学講座 准教授

一般演題（口演）

口演 1 親子保健・地域保健 5題

11:00-11:50 第1会場（4F 大会議室）

座長：喜多 歳子（札幌市立大学看護学部 教授）

O-1 父親の育児行動に関する国内文献の検討

○上林健斗¹、上田泉²

¹札幌医科大学大学院保健医療学研究科看護学専攻、²札幌医科大学

O-2 在宅の暮らしを支える訪問看護師が大切にしていること

○牧野志津¹、塩川幸子¹、山内まゆみ¹、井戸川みどり²、金田豊子²、平塚志保²、
平瀬美恵子²、奥田久美²、澤田裕子²

¹旭川医科大学医学部看護学科、²旭川医科大学病院看護部

O-3 地域ケア会議ロールプレイの評価（第一報） ～リアリティを生み出す教員の介入と成果～

○藤井智子、塩川幸子、水口和香子
旭川医科大学

O-4 地域ケア会議ロールプレイの評価（第二報） ～リアリティから学びを得るための技術教育の工夫～

○水口和香子、藤井智子、塩川幸子
旭川医科大学

O-5 地域ケア会議ロールプレイの評価（第三報） ～会議のリアリティを体験した保健師学生の学び～

○塩川幸子¹、藤井智子¹、水口和香子¹、神戸愛¹、神田浩路¹、山下千絵子²
¹旭川医科大学、²北海道科学大学

座長：山本 長史（北海道渡島総合振興局 技監）

O-6 市販挽肉における各種ブドウ球菌種の分布状況、遺伝子型および薬剤感受性に関する解析

○長田雅子¹、Meiji Soe Aung²、漆原範子²、川口谷充代²、大橋伸英²、小林宣道²、
廣瀬弥奈³

¹ 天使大学、² 札幌医科大学、³ 北海道医療大学

O-7 根室・中標津管内養護老人ホームにおける新型コロナウイルス(COVID-19)感染症 クラスター事例

○伊東則彦¹、玉井綾子²、中村宏³、大前利市⁴、大西浩文⁵

¹ 根室・中標津保健所、² 根室保健所、³ 中村脳神経内科クリニック、⁴ 大前クリニック、
⁵ 札幌医大公衆衛生学講座

O-8 札幌市の積極的疫学調査における新型コロナウイルス曝露要因のリスク分析

○齋藤彩乃¹、石川珠美¹、三井尚美²、合田奈央³、水野麻子⁴、西條政幸¹、横田勲⁵

¹ 札幌市保健所医療対策室、² 札幌市保険医療部保険企画課、³ 札幌市南区役所、
⁴ 札幌市東保健センター、⁵ 北海道大学大学院医学研究院

O-9 SARS-CoV-2株によるCOVID-19の家族内感染に対するCOVID-19ワクチン接種の有効性

○齋藤彩乃¹、石川珠美¹、三井尚美²、合田奈央³、水野麻子⁴、西條政幸¹、横田勲⁵

¹ 札幌市保健所医療対策室、² 札幌市保険医療部保険企画課、³ 札幌市南区役所、
⁴ 札幌市東保健センター、⁵ 北海道大学大学院医学研究院

座長：藤井 智子（旭川医科大学医学部看護学科 教授）

O-10 新型コロナウイルス感染症患者自宅内隔離の同居者への感染リスク低減効果

○齋藤彩乃¹、石川珠美¹、三井尚美²、合田奈央³、水野麻子⁴、西條政幸¹、横田勲⁵

¹札幌市保健所医療対策室、²札幌市保険医療部保険企画課、³札幌市南区役所、

⁴札幌市東保健センター、⁵北海道大学大学院医学研究院

O-11 新型コロナウイルス感染症自宅療養者の医療提供体制づくり

（第一報）ワーキングによる自宅療養者への医療提供マニュアルの作成

○木村章子、清水唯、佐藤由香里

北海道千歳保健所

O-12 新型コロナウイルス感染症自宅療養者の医療提供体制づくり

（第二報）ワーキングによる自宅療養者への訪問看護マニュアルの作成

○清水唯、佐藤由香里、木村章子

北海道千歳保健所

O-13 新型コロナウイルス感染症自宅療養者の医療提供体制づくり

（第三報）自宅療養者への医療提供マニュアルの周知とその後の医療提供の状況

○佐藤由香里、木村章子、清水唯

北海道千歳保健所

O-14 厳冬期に学校が避難所となる際の公衆衛生学的課題

○根本昌宏

日本赤十字北海道看護大学

座長：上田 泉（札幌医科大学保健医療部看護学科 教授）

**O-15 胃がん撲滅に向けた胃がん検診の効果的实施に関する検討
～胃内視鏡検査による検診状況と今後の体制について～**

○久保史華、木原真結、勝藤瞳、竹瀬加奈、合田真弓、藤原美樹
北海道対がん協会

O-16 地域一般住民高齢女性の歯の喪失のリスク要因の検討

○中山佳美¹、大西浩文²、森満³
¹ 北海道室蘭保健所、² 札幌医科大学医学部公衆衛生学講座、
³ 北海道千歳リハビリテーション大学

O-17 咀嚼チェックガムの活用がきっかけとなり地域ケア個別会議において口腔機能向上が課題として検討された事例（報告）

○安藤寛子¹、千田樹依¹、佐々木健²
¹ 留萌保健所、² 釧路保健所

O-18 都道府県歯科保健計画にみる子どもの地域歯科保健活動

○吉田理恵¹、武澤千尋²
¹ 日本赤十字北海道看護大学、² 駒沢女子大学

O-19 都道府県歯科保健計画にみる成人期の地域歯科保健活動

○武澤千尋¹、土屋陽子¹、近藤明代²、吉田理恵³、榊航利⁴
¹ 駒沢女子大学、² 札幌保健医療大学、³ 日本赤十字北海道看護大学、
⁴ カズトシデンタルオフィス

一般演題（示説）

示説 （ポスターディスカッション） 14:40-15:10 第3会場（1F 展示ホール）

P-1 コロナ禍における高齢者と家族の関係の変化： 地域在住の自立高齢者における検討

○大内潤子、山本道代、松原三智子、奥村由美恵、宮田久美子、林裕子
北海道科学大学

P-2 地域在住高齢者のコロナ禍における食行動・食態度とその関連要因

○山本道代¹、中川亜弥²、大嶋菜々²、中村茉穂³、大内潤子¹、林裕子¹
¹北海道科学大学、²札幌市立病院、³東京都立病院

P-3 COVID-19流行下における面会制限により患者およびその家族に生じる影響と 医療者が実施した対策についての国内文献検討

○徳永芽衣、村松真澄
札幌市立大学

P-4 コロナ禍における北海道在住の大学生の歩数の変化について

○越前琴未、辻伶弥、水本淳
北海道文教大学人間科学部理学療法学科

P-5 礼文島における新型コロナウイルス感染症に伴う保健師活動

○藤澤奈央¹、石動さゆり¹、吉田早記¹、西塚阿梨紗¹、升田晃生²、升田鉄三²
¹礼文町役場、²船泊診療所

P-6 保健師の抱える若年妊婦の支援における困難感の実態

○飛田幸宏¹、金盛詩織¹、中川妙美¹、森幸野¹、宮村香¹、伊東正則¹、東海林幹²、
大西竜太³
¹札幌市北区保健福祉部、²札幌市保健福祉局障がい保健福祉部、
³元北海道大学大学院保健科学研究院

P-7 保健師による若年妊婦への支援の円滑化に向けた質問紙の作成

○金盛詩織¹、飛田幸宏¹、中川妙美¹、森幸野¹、宮村香¹、伊東正則¹、東海林幹²、
大西竜太³
¹札幌市北区保健福祉部、²札幌市保健福祉局障がい保健福祉部、
³元北海道大学大学院保健科学研究院

P-8 地域包括ケア病棟看護師の退院支援・在宅療養支援に関する文献検討（現状と課題に着眼して）

○林裕美子、松原三智子
北海道科学大学

**P-9 育児支援アプリケーションを活用した子育て応援パンフレット作成の試み
～育児負担軽減やスマートフォン依存予防に向けて～**

○毛利ののか¹、井上智哉²、國枝未歩²、松原三智子¹

¹北海道科学大学公衆衛生看護学専攻科、²元北海道科学大学保健医療学部看護学科

**P-10 児童生徒が主体的に取り組む感染症予防対策の実践活動；
ありがとうプロジェクトの進捗報告 第2報**

○大浦麻絵¹、大西浩文¹、小山雅之¹、長多好恵¹、長谷川準子¹、助友裕子²、森満^{1,3}

¹札幌医科大学医学部公衆衛生学講座、²日本女子体育大学、

³北海道千歳リハビリテーション大学

P-11 2022年の道内7観測地点における空中花粉飛散量調査

○武内伸治¹、平島洸基¹、柿本洋一郎¹、高橋正幸¹、藤本啓¹、半澤拓也²、日下弘之²、
木村卓郎²、熊田洋行²、中島千歳³、三輪琴恵³、若松健司³、西方敏之³、野原佑太⁴、
本間瑞生⁴、菊池英次⁴、古田雅弘⁴、竹田豊輝⁴、遠藤雪香⁵、後藤江里奈⁵、小島遼⁵、
渡辺淳一⁵、玉手直人⁵、松井秀明⁶、島田康裕⁶、若森吉広⁶、藤原修⁶、鷲見優斗⁷、
杉本麻梨琴⁷、石川智明⁷

¹北海道立衛生研究所、²渡島保健所、³岩見沢保健所、⁴上川保健所、⁵帯広保健所、

⁶北見保健所、⁷稚内保健所

P-12 バーカーカード法による花粉調査の計数簡略化の検討について

○平島洸基、武内伸治
北海道立衛生研究所

P-13 令和4年に道内で発生したトリカブトの混入が疑われる食中毒事例について

○高橋正幸¹、佐藤正幸¹、平島洸基¹、武内伸治¹、藤本啓¹、吉江秋彦²、橋本ひなた²、
二瓶昌子²

¹北海道立衛生研究所、²小樽市保健所

第74回北海道公衆衛生学会 運営役員

学 会 長	北海道立衛生研究所	所 長	栗 井 是 臣
副 会 長	北海道保健福祉部	技 監	人 見 嘉 哲
副 会 長	札幌市衛生研究所	所 長	山 口 亮
幹 事	札幌市保健福祉局	医務・健康衛生担当局長	館 石 宗 隆
幹 事	北海道保健福祉部健康安全局	地域保健課長	遠 藤 篤 也
幹 事	北海道立衛生研究所	副所長	中 野 繁
幹 事	北海道立衛生研究所	感染症センター長	藤 谷 好 弘

事 務 局

事務局長	北海道立衛生研究所 企画総務部	部 長	阿 部 聡
事務局員	北海道立衛生研究所 生活科学部	部 長	藤 本 啓
事務局員	北海道立衛生研究所 食品科学部	部 長	西 村 一 彦
事務局員	北海道立衛生研究所感染症センター 感染症部	部 長	山 野 公 明
事務局員	北海道立衛生研究所感染症センター 健康危機管理部	部 長	森 本 洋
事務局員	北海道立衛生研究所 企画総務部	主 幹	谷 口 直 子
事務局員	北海道立衛生研究所 企画総務部	主 幹	上 野 健 一
事務局員	北海道立衛生研究所 企画総務部	主 査	水 口 真由美
事務局員	北海道立衛生研究所 企画総務部	主 査	柳 瀬 忍
事務局員	北海道立衛生研究所 企画総務部	主 査	鈴 木 智 宏